

会報

京都マイコン研究会

第 117 号

1997年4月1日発行

発行人 圓口佳昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内20
TEL/FAX 075-981-0063, 982-8064
nomasuda@inbox.kyoto-inet.or.jp

トピックス or ニュース

パソコン売り場の変化!!

圓口佳昭

97年3月末のパソコン売り場の変化は、CPUペンティアム (Win95)、MMXペンティアム (Win97)、ペンティアムPro (Win95) と変化をしています。変化に対応した販売価格の低下から今後の方向が見えるようです。ペンティアムPro (Win95) は供給電源の変化や周辺ICの変化があり、今までのものから変化しています。

ハードの変化が旧式のソフトから新しいソフトへの切り替えを促進し、動作環境の変化で買い替えの促進が発生します。そこで消費のサイクルが作り出されハード、ソフトを急速に変化させているのです。

この変化を受け止め楽しくするために専門部会「ハード」部会の復活です、最近の雑誌ではマザーボードの解説が増え取り組みやすくなりました。

新規事業としてボランティア基金での講習会、それに向けての講習会テキスト作り、利用パソコン対応を取り入れた8086 (DOS)、486 (Win3.1)、ペンティアム (Win95) 別にソフトバージョン、ハード容量などを決め、作業能率の低下のない最適システムでの利用方の研究と提案ばかりですが皆さんと研究していきたいと思ひます。

例会報告

1997年3月1日 (pm. 6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 岩井、若井、若林、圓口、前田、前田
増田、吉川、河原、中村、上田、他 12名

内容 インターネット部会開催
その他

次回例会

日時 97年4月5日 (pm. 6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

内容 続インターネット部会
報告・他

鍵田靖之氏

新規電子メールアドレス

京都マイコン研究会

年次計画

会長 圓口

- 4月新年度専門部会登録、部会発足企画運営委員会。ホームページ決定
- 5月合宿 office97
- 6月専門部会個別講習会
- 7月認定試験、近江舞子バベキューパーティー
- 8月ピアホール
- 9月講習準備
- 10月講習会
- 11月
- 12月認定試験
- 1月新年会
- 2月
- 3月

DTPとグラフィカルユーザーズインターフェイス

ソフトウェアとビデオアクセラレーターカードについて。

皆さんもすでにご存知かと存じますが、富士通のFM/V diskpower H/SX/S のトラブル。今回、なぜこのようなエラーを提示したかの理由は、この会報の編集がここ数ヶ月以来トラブルの連続で、このことはページメーカーユーザにとっては大変な問題なのです。本来はWINDOWSはグラフィカルユーザーズインターフェイス（画面上自由自在に操作出来ることが保証される）が提供されているはずなのに、ソフトウェアや内臓機器により阻害されるのは迷惑ですね。最近のマザーボードのバス仕様にもソフトウェアがかかわって来ている事も見逃せません。高度なプロフェッショナルが使用するソフトウェアでは最新のハードを要求するのですが、今まで親しみなじんで来たハードとはおさらばして下さいと言うことが答えのようでした。

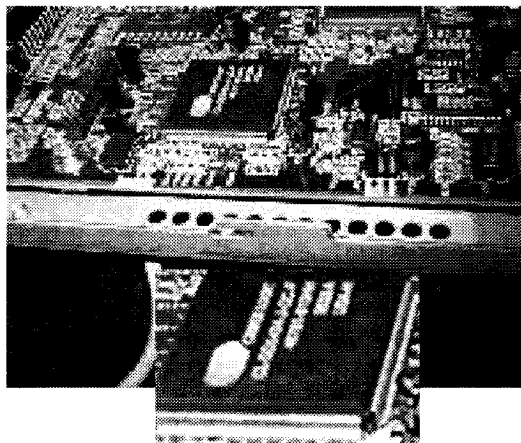
其の現象とは、

1. 新バージョンPM6. jのページメーカーが思うように操作が出来ない。入力した文章の文字サイズを変更しても最初の幅から指定文字サイズの幅に変更出来ない。文字サイズを変更したら文字が重なり合って最初の文字幅から変わらない。テキストから文字をインポートしたら文字が重なり合う。
2. 画像を張り付ければ、編集画面が常時画面一部分がシグナルを発するので編集出来ない。画面表示サイズを変更すれば全てを表示せず、シグナルする。文書と画像が重なれば画像部分の領域サイズハンドルが拡大して行く。その他いろいろありまったく手に負えない。

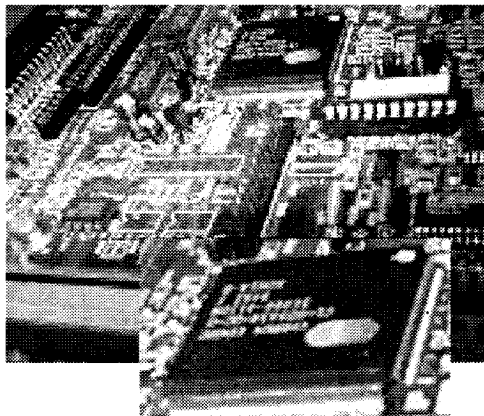
3. バージョン6Jになってから以前にも掲載しましたがプリンターへの出力が気が遠くなるほど遅い。他のソフトで試したが、これはページメーカーだけの現象です。

DX/4 100の初期バージョンつまり本体の形状が現在のような流線型ではなくフラットな形状とその後の形状のDESKPOWERとロゴが付けられたDESKPOWER HI/SX/S までの型式P75までそれ以後のP100搭載機以後のビデオアクセラレーターチップ（以前はビデオアクセラレーターカードが後部スロットに搭載されていてVRAMの増設も出来たが最近、自作互換機以外すべてマザーボードに直接接続されているチップになっている。）の種類がちがうのである。私が今手元にあるハード内容の内容と図を以下に表示します。

機種	ビデオアクセラレーターチップの種類
● FM/V DX/4 100MHZ	LGC-3430 VRAM 1MB 外部キャッシュ 128KB
● FM/V DESKPOWER DX/4 100MHZ	LGC-3433 VRAM 1MB 外部キャッシュ128KB
● FM/V DESKPOWER P5 75MHZ	LGC-3433 VRAM 2MB 外部キャッシュ256KB
● FM/V DESKPOWER P5 100MHZ	Mach 64 VRAM 2MB 外部キャッシュ 256KB
● FM/V DESKPOWER P5 120MHZ	Mach 64 VRAM 2MB 外部キャッシュ 256KB
● IBM PS/V Master100 DX/4 100MHZ	S3-V864 VRAM 2MB 外部キャッシュ256KB
● IBM Aptiva T P5 150MHZ	S3-MATH64 VRAM 2MB 外部キャッシュ 256KB



● FM/V DX/4 100MHZ LGC-3430 VRAM 1MB



● FM/V DESKPOWER DX/4 100MHZ LGC-3433

DTP

デスクトップハブリッキング

- DOS/V互換機 DX/2 66MHZ S3- VRAM 2MB 外部キャッシュ256KB
- DOS/V互換機 DX/2 66MHZ S3- VRAM 1MB 外部キャッシュ64KB
- SANYO DOS/V互換機 DX/4 100MHZ mach32 外部キャッシュ256KB
以上です

このテストの中で得た結果は以下のように解りました。

1. 編集画面で文字操作がおぼつかない機種。

- FM/V DESKPOWER DX/4 100MHZ CL-GD5434QC-D VRAM 1MB 外部キャッシュ128KB
- FM/V DESKPOWER P5 75MHZ GL-GD5434DC-F VRAM 2MB 外部キャッシュ256KB

2. 編集画面で文字操作が何とか出来る機種。

- FM/V DX/4 100MHZ LGC-3430 VRAM 1MB 外部キャッシュ128KB
- IBM PS/V Master100 DX/4 100MHZ S3-V864 VRAM 2MB 外部キャッシュ256KB
- DOS/V互換機 DX/2 66MHZ S3- VRAM 2MB 外部キャッシュ256KB
- DOS/V互換機 DX/2 66MHZ S3- VRAM 1MB 外部キャッシュ64KB
- SANYO DOS/V互換機 DX/4 100MHZ Mach 32 VRAM 2MB 外部キャッシュ256KB

3. まったく問題がない機種。

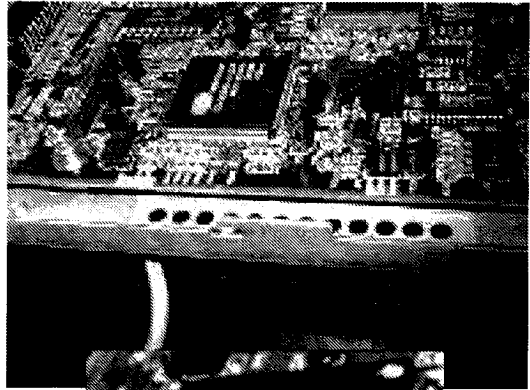
- FM/V DESKPOWER P5 100MHZ Mach 64 (PCI)
- FM/V DESKPOWER P5 120MHZ Mach 64 (PCI)
- IBM Aptiva T P5 150MHZ Mach 64 VRAM 2MB 外部キャッシュ256KB (PCI)

このように同じメーカーでも機種バージョンにより結果が違います。ハードも古くても問題が無いものと新しくても使い物にならないものがあります。

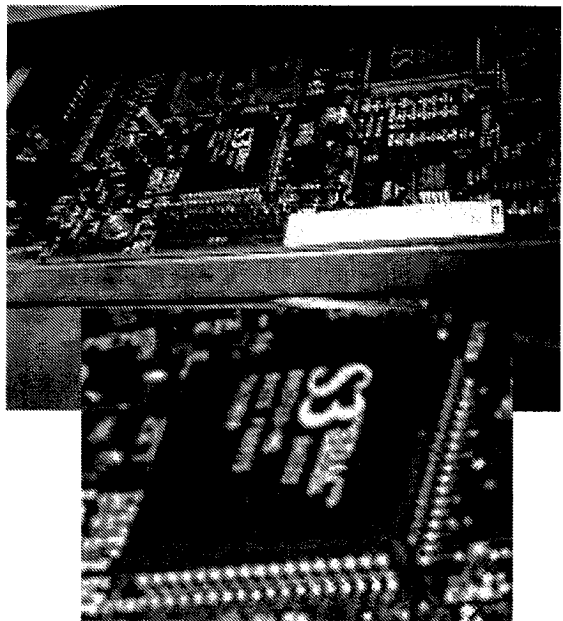
以前は、とくに互換機の購入時にはビデオアクセラレーターカードの選択が本体を選ぶのと同じくらい重要であったのが、最近はボード直結のビデオアクセラレーターチップになっているため選択肢がない不備な点があります。このビデオアクセラレーターとは、画面にソフトウェアからキーボードやマウスの情報を画面に早く正確に表示出来るかのカギをにぎる重要な部分なのです。本体のCPUが早くてもビデオアクセラレーターの処理スピードが遅くては何のCPUの早さかわからないのです。

前回116号会報では、IBM機で編集したためページメーカーV6Jにて編集しましたが、まだ画面上でシグナルが起きましたのでRAMを増設したら画像を張り付けた場合画面がチカチカするのが治るのか、RAMを8MB、16MB、32MB、40MBと増設してテストしたが、「FM/V DX/4 100MHZ」「FM/V DESKPOWER DX/4 100MHZ」「FM/V DESKPOWER P5 75MHZ」「IBM PS/V Master100 DX/4 100MHZ」は変化がなかった。

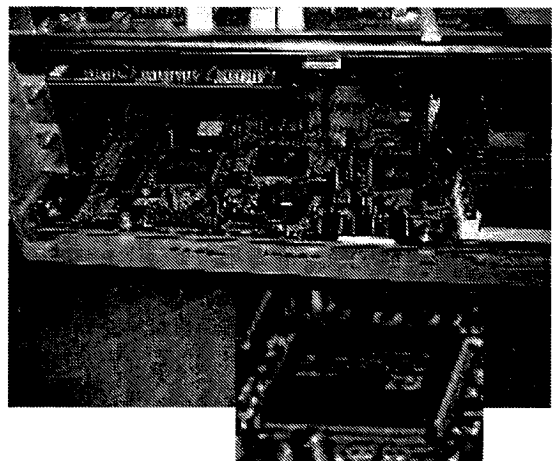
その一方で、「FM/V DESKPOWER P5 100MHZ Mah 64 (PCI)」「FM/V DESKPOWER P5 120MHZ Mah 64」「IBM Aptiva T P5 150MHZ S3-」「DOS/V互換機 DX/2 66MHZ S3-」の機種ではRAMが8MB、16MB、



FM/V DESKPOWER P5 75MHZ LGC-3433 VRAM 2MB



IBM PS/V Master100 DX/4 100MHZ S3-V864 VRAM 2MB



FM/V DESKPOWER P5 100MHZ Mah 64

DTP

デスクトップパブリッシング

32MB、40MBであろうと関係なしにシグナルも出ずに正常に動作した。

メモリーを欲しがっていたのではなかったようです。早々無駄な32MBを引っ込めました。

このシグナルの原因はいかにあるかは、CPUが586だけでもだめで、バス仕様の問題である事が解りました。

前月116号の、A3サイズ一面プリントアウトするのに4.5時間かかり、4Pだて会報で、1日係り都合8Pだて会報が2日以上プリントアウトするだけで日時を費やし発行日に間に合わすのが精一杯の状況で皆さんにご迷惑を紙面でおかけしています。(LP8200が、他の人にせがまれて譲ったため。)

その後、頭にきたから其の原因となるLP9000本体をバラしてその後に購入したメモリーを差し込んあげた。そうしたらすぐに3分ぐらいで同じ物がプリントアウトしてくれるようになった。(もう少しで機械が壊れるか、私が壊れていた。)

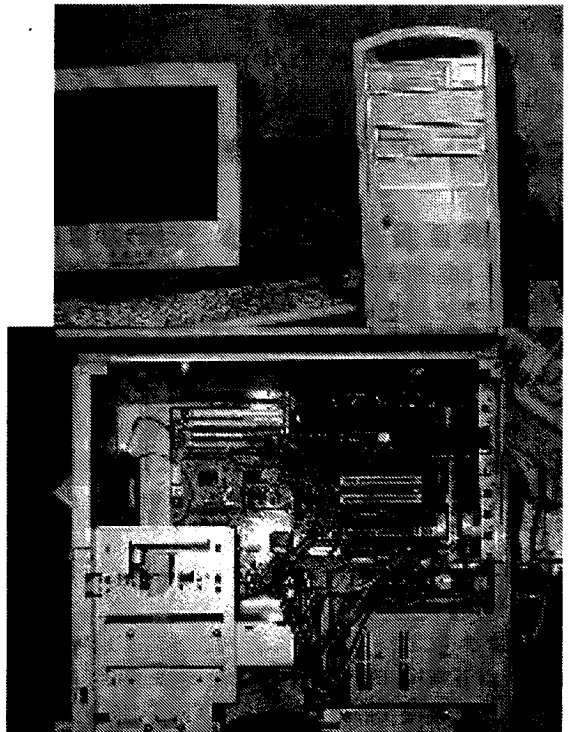
しかし、増設RAMを8MB、16MB、32MB、40MBと増設してもプリントアウトするスピードは変わらぬので無駄な投資はやめ4MBに止めた。使用しているうちにプリンター動作が遅く感じればそのときに増設すれば良いと思います。悔やまれるのは、もう少し早く気が付けば良かったのですが。

LP8200の標準的なハードのままでは、出力中のデータがプリントアウトの途中でDTI(表示解像度)が変わる。このプリンターの場合は出力時間は遅くないが予告もなしにプリントが粗くされてしまったり、後半の半分がプリントアウトされないという現象が生じる。通常このプリンターを使用するには必ず4MBのRAMを増設しなければA3サイズ出力使用に耐えられない。

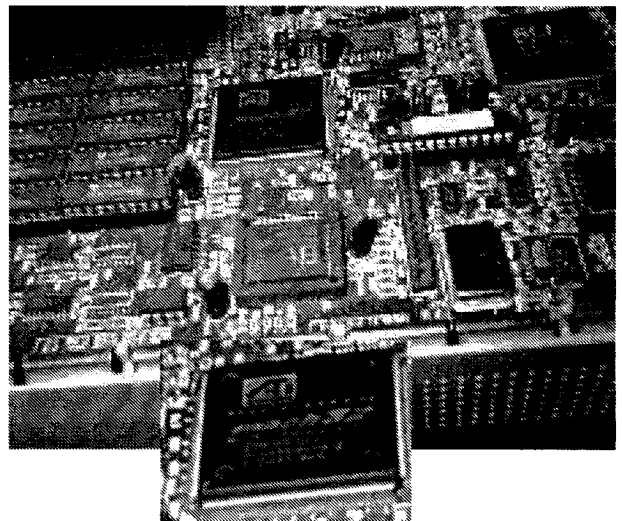
(4MBのRAMを増設しただけでびゅんびゅんプリントアウト出来るのに。)

だから、発売初期に初心者がRAMの増設を知らずに新古市場出したために新古が多く出回っていたのではと考えられます。(メーカーもむちゃをする。)

しかし、ページメーカー、バージョン5Jでは上記のようなトラブルはまったく無かったのにプリンターにまでメモリーを要求するようになり、アルダスからアドビに変わった途端トラブルが多いMS-WINDOWS95がそうさせているのか、アドビさん、今までの使い良さ継承してちょうだいと言いたい。他のソフトの真似をせずシンプルで使い易いがコンセプトであってほしい。デスクトップパブリッシングとは誰でもが使い易く安定した操作を継承しなければ意味がないのでは使用機種を選ばなければならないのでは、それはソフトハウスの汚点であるのでは。ただそのような仕組みにより操作環境が早く動作する様になったのであればハードを変えなければならないか否かは利用者が決定しなければならないのでしょうか、私としてはそのような選択肢は、不愉快な今回の結果でした。



IBM Aptiva T P5 150MHZ Mah 64 VRAM 2MB 外部キャッシュ 256KB



SANYO DOS/V互換機 DX/4 100MHZ Mah 32 VRAM 2MB 外部キャッシュ256KB



最近の外部キャッシュメモリー仕様

LANとネットワークでのトラブルについて

LANを導入されておられる方は下記の Microsoft がメッセージを提供している中の現象を一度は経験されたり実際に現在の状況そのものであるというような場合の方々への留意点として下さい。

私たちの研究会においてLAN講習会を開催し、接続実演を幾度かいたしました。接続実演をしたハードは必ずトラブルが発生しています。

このことは Microsoft がメッセージを知らなかったゆえに起こってしまったのです。一度LAN接続をしてしまったハードのBATファイルの先頭行にはnetworkをさがしに行く記述が追記されています。

皆さんごめん、Microsoft がメッセージを知らなかった私が悪かったのです。皆さんのハードディスクの中にも「:¥WINDOWS¥network.txt」としてMicrosoft がメッセージをひっそりと書き置いているのです。

Microsoft Windows 95 README : ネットワーク
1995 年 11 月

(c) Copyright Microsoft Corporation, 1995

このファイルでは、Microsoft Windows 95 のマニュアルやオンライン ヘルプに記述されていない追加情報や最新情報について説明しています。

このファイルの読み方

メモ帳を使って画面でこのファイルを読むときは、メモ帳のウィンドウを最大化すると読みやすくなります。

このファイルを印刷するには、メモ帳またはほかのワード プロセッサでファイルを開き、[ファイル] メニューの [印刷] をクリックしてください。

目次

- *NetWare クライアント
- *プラグ アンド プレイのネットワーク カードと 16 ビットリアル モード ドライバ
- *Intel EtherExpress 16 NIC と PCI バス搭載コンピュータ
- *Windows for Workgroup の共有リソース
- *Windows 95 をサーバーから起動する場合
- *サード パーティ製ネットワーク
- *ネットワーク プリンタへの印刷
- *NetWare ネットワークで PostScript プリンタへ印刷する場合に起きる問題
- *Windows 95 での MS-DLC の問題とインストール
- *Microsoft の TCP/IP プロトコル
- *ネットワークのユーザー プロファイル
- *ネットワーク バックアップ エージェント
- *リアル モード プロトコル: ネットワーク アダプタの警告アイコン
- *Dock II で IBM の Thinkpad を使う場合
- *Melco LGY-AT ネットワーク カード用の NDIS 2 ドライバを使う場合

NetWare クライアント

Windows 95 および NetWare 3.12 と 4.01 サーバー

NetWare 3.12 または 4.01 をサーバーとし、Microsoft NetWare ネットワーク クライアントを Windows 95 で使っている場合は、パケット バースト プロトコルを使うと問題が起こります。これは、NetWare 3.12 または 4.01 サーバーに起こる確認済みの問題です。これらは、修正され、Novell のフォーラムで公表されています。

CompuServe の Novell NetWare フォーラム、または Novell Web サイト (Ftp.Novell.com) から PBURST.EXE ファイルをダウンロードしてください。

PBURST.EXE ファイルには、動作不良を起こすサーバーのパッチが含まれています。

NetWare 3.11 サーバーにあるファイルを開く場合の問題

いくつかのファイルを立て続けに開くアプリケーションでは、NetWare 3.11 サーバーにあるファイルを開くときに問題が起こることがあります。また、ファイル読み取り権のないフォルダにあるファイルを開こうとしても、この問題が起こることがあります。このようなフォルダの例としては、MS Mail の共有ポスト オフィスなどがあります。

表示される可能性のあるエラー メッセージは次のとおりです。

- ファイルは確かにあるのに、ファイルが見つからないというエラー
- 共有違反またはロック違反であるというエラー
- ファイルを開けないというエラー
- ファイルが使用中であるというエラー

この問題が生じた場合には、2 通りの対処方法があります。

- ・この問題を修正するパッチ (NetWare 3.11 サーバー用) を Novell から入手します。このパッチは、ftp.novell.com から ftp で入手することもできます。
/pub/netware/nwos/nw311/osnlm へ移動し、311PTD.EXE を実行してください。

LAN

この .EXE ファイルから、OS2OPNFx.NLM ファイルが復元されます。次に、この .NLM ファイルを 3.11 サーバーにロードします ("load os2opnfx.nlm")。

- ・ NetWare クライアントで長いファイル名を使用できないようにします。この場合、Windows 95 から NetWare サーバーにある長いファイル名のファイルは使用できなくなります。長いファイル名のサポートを無効にするには、次のようにします。

REGEDIT を実行し、
HKEY_Local_Machine\System\CurrentControlSet\Services\NwRedir
に移動します。その後、supportLFN という名前で値が 0 のバイナリを新規作成します。

NetWare 4.1 サーバーでパスワードに小文字の拡張文字を使う場合の注意点

NetWare 4.1 環境では、NetWare クライアントは特定の小文字の拡張文字を使ったパスワードをサポートしていません。このため、ユーザーはパスワードをすべて大文字に変更する必要があります。

NetWare クライアントと外部ファイルを使うプログラムについて

Microsoft の NetWare クライアントを使っていて、補助ファイルにアクセスするプログラムを実行する場合は、そのプログラムがインストールされているドライブでないドライブに補助ファイルがあると問題が起きます。これは、補助ファイルの検索の対象がカレントドライブだけで、検索パスは検索されないからです。このような問題が起こった場合は、プログラムと補助ファイルが同じドライブにあるかどうかを確かめてください。

Novell NetWare のログイン スクリプトについて

Microsoft の NetWare クライアントのログインスクリプトプロセッサでは、ログインスクリプトのすべてのコマンドが正常に処理されるはずですが、ただし、ログインスクリプトで TSR (メモリ常駐プログラム) を読み込むことはできません。

プラグ アンド プレイのネットワークカードと 16 ビットリアルモードドライバ

プラグ アンド プレイ のネットワークインターフェイスカード (NIC) 用の 16 ビットリアルモードドライバを実行すると、プラグ アンドプレイカードが動作していないように見えることがあります。

これは、大部分のコンピュータでは、Windows 95 がプラグアンドプレイカードを有効にするまで、プラグアンドプレイカードがアクティブでない状態であるためです。16 ビット NIC ドライバは、Windows 95 がプラグ アンド プレイカードを有効にする前に読み込まれるため、ドライバによってはプラグ アンド プレイカードが認識されません (プラグ アンド プレイ対応 NE2000 互換製品のほとんどがこれに該当します)。このような場合、16 ビット NIC ドライバでプラグ アンドプレイカードを使うには、次の手順に従ってください。

1. プラグ アンド プレイ カードに付属するソフトウェア設定ユーティリティを実行し、カードを非プラグ アンド プレイ モードに設定します。
2. コントロール パネルで [システム] アイコンをダブルクリックし、[デバイス マネージャ] タブをクリックします。次に、表示されるデバイスの一覧から、そのネットワークカードを選択し、[削除] をクリックします。
3. コントロール パネルの [ハードウェア] アイコンで、そのネットワーク カードをインストールし直します。

将来、32 ビット プロテクト モード NIC ドライバをインストールするときには、ソフトウェア設定ユーティリティを使って、カードをプラグ アンド プレイ モードに設定してください。なお、この問題は、32 ビット プロテクト モード NIC ドライバを使う場合には起こりません。

Intel EtherExpress 16 NIC と PCI バス搭載コンピュータ

一部の Diamond Speed Star PCI ビデオ カードを装着した PCI コンピュータで Intel EtherExpress 16 NIC を使った場合は、システムがハングしたり、正常に初期化できないことがあります。Intel のカスタマ サービスによると、この問題は Windows 95 に起因する問題ではなく、いろいろなオペレーティング システムで起きるものです。

次のいずれかのビデオ カードを使っている場合は、メーカーに問い合わせる最新のビデオ BIOS を入手してください。

- * BIOS バージョン 1.01 の Diamond Speed Star PCI ビデオ カード
- * Diamond Viper PCI VGA ビデオ アダプタ
- * BIOS バージョン 1.03 の Diamond Stealth ビデオ カード

ほかの PCI ビデオ カードでも、Intel EtherExpress 16 NIC を使った場合に問題が起きることがあります。PCI マシンで EtherExpress 16 を使ったときに、上記以外の問題が起こった場合は、Microsoft にお知らせいただく前にビデオ カードを交換してみてください。

Windows for Workgroup の共有リソース

Windows for Workgroups から Windows 95 にアップグレードした場合、Windows for Workgroups の共有リソースの設定は保持されません。したがって、アップグレード後に共有の設定をやり直す必要があります。

Windows 95 をサーバーから起動する場合

Windows 95 は、サーバーから起動する形式でインストールできます。このような環境に Windows 95 をインストール方法については、『Windows 95 リソース キット』に詳しい説明があります。第 4 章「サーバーベースの Windows 95 のセットアップ」を参照してください。

インターネット

nomasuda

インターネットorHTMLの概念

HTMLは元々はデータのネットワークでのやりとりだけでレイアウトや編集などは必要としなかった。

伝えることをいかに早く伝えるかが使命であったとも思えます。そして現在、日本ではインターネットばかりですが、インターネットは世界の公共通信網で。だれもかれもがネットを独占してもいけないのです。

得たい情報をすみやかにキャッチし、他の人にゆずる精神を基本概念としなければいずれはパンクする。そのことを踏まえてホームページはすみやかに開くように、画像や映像、音声などは別のサイトで表示さすなどに（ダイアルアップをしている人のことも）心掛け作成したいものです。それが成熟したホームページの作り方ではないでしょうか。

●WWW (World Wide Web)

○世界中の統一された（通信）データ表示システム。世界のどこかのネットワークサーバーにデータがあれば、利用したい人が何時でも見られる。それを表示するための道具、ビューワー（ブラウザ）のことです。「Mosaic」というブラウザが一般に知られていますが、これが「WWW」のシステムです。

☆ネットワークサーバー

ビューワー（ブラウザ）に表示されるページを「Webページ」ホームページと言ひ、これはネットワークサーバー（つまりプロバイダー）の複数の契約者が掲載してい

る目次とも言えるもので、その目次が示している複数の契約者とリンク（つながっている）ところの一番初めに表示するページ。これが私達一般に、ホームページ「Webサイト」と言われています。

☆クライアントは情報を得るほうで、サーバーは発信しているところ。

●HTML (HyperText Markup Language)

○ハイパーテキスト形式の文書として表示命令言語。

プレインテキストに「タグ」を使って命令をする。

文字設定

文字（フォント）の大きさや種類

マークや数式表記の代入（自動表記）

レイアウト設定

テキストのレイアウト

画像やイメージの設定

作表・データ入力項目の設定

リンク設定

他のページ、データへのリンク

「タグ」

「拡張子」

最近では高度な表示が出来る言語も開発されています。其の代表がJAVA言語です。今後ますます変化するでしょう。OSに頼らない世界標準のDTPソフトを目指して開発されつつあり完成されれば現在ある多種多様なソフトウェアに悩まされなくてもすむかもしれません。

4月号の返答

イントラネットって何ですか

解説者募集です。用語解説から実際使用について企業で実際使っておられて、その体験をやさしい説明でお願いしたい。

イントラネットについて

中西洋一

私もイントラネットの定義について正確に調べたことがありませんが、インターネットの技術を使用して、特定のグループ（企業）内のネットワークをイントラネットと理解しています。

インターネットの技術とは、クライアントにブラウザを使用して利用するネットワークではないでしょうか。

利用方法としては、グループ内のデータを共有する事。たとえば、システム開発標準マニュアルを構築しておくと、グループ内の各自がブラウザで使用できます。

また、グループ内全員のアドレス帳を利用して情報連絡（各自のスケジュールに会議を割り当てたり）をすとか、色々と利用出来るようです。

LAN

Microsoft の TCP/IP プロトコル

Microsoft の TCP/IP だけしかシステムにインストールされていない場合は、セットアップ時に IP アドレスは追加されません。DHCP サーバーがある場合は、コントロール パネルの [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、閉じてください。

これで IP アドレスが更新されます。DHCP サーバーがあるかどうかわからない場合は、ネットワーク管理者にたずねるか、または IP アドレスが入力されているかどうかを確かめてください。

DHCP サーバーがない場合は、コントロール パネルの [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、TCP/IP をダブルクリックしてから [IP アドレス] タブをクリックし、IP アドレスを入力してください。

新しいディレクトリへインストールした場合、DNS または LMHOSTS の名前解決を使うには、コントロール パネルの [ネットワーク] で、DNS を有効にしてください。

DNS を有効にするには、コントロール パネルの [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[TCP/IP] をダブルクリックしてから [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使う] をクリックします。

ネットワークのユーザー プロファイル

Windows NT または Novell NetWare ネットワークでユーザー プロファイルを使っている、プロフィールに [Start Menu/Programs]、[Network Neighborhood]、[and/or desktop icons] を設定している場合は、これらの設定をネットワーク全体で使うための長いファイル名にサーバーが対応する必要があります。

ネットワーク バックアップ エージェント

Arcada Backup Exec ネットワーク バックアップ エージェント

Windows 95 に用意されている Arcada Backup Exec ネットワーク バックアップ エージェントを使うには、Arcada Backup Exec バージョン 5.X が必要です。

Cheyenne ARCserve ネットワーク バックアップ エージェント

Windows 95 に用意されている Cheyenne ARCserve ネットワーク バックアップ エージェントを使うには、Cheyenne ARCserve Version 5.01F が必要です。Cheyenne Software から最新の NLM を入手した場合は、それ以前のバージョンでも使用できます。

リアル モード プロトコル: ネットワーク アダプタの

警告アイコン

Novell Netware 3.x など、プロテクト モードのプロトコルを使わないネットワークをインストールした場合は、デバイス マネージャを開くと、そのネットワーク アダプタのところに黄色い警告アイコンが表示されることがあります。この警告アイコンが表示されていても、ネットワークは完全に動作しているので、警告アイコンは無視してかまいません。この警告アイコンを消したい場合は、セットアップ ディスク 1 にある EXTRACT.EXE で、Windows 95 ディスクから NDIS.VXD を展開し、Windows をインストールしたフォルダの ¥System フォルダにコピーします。システムを再起動すると、警告アイコンは表示されなくなります。

Dock II で IBM Thinkpad を使う場合

32 ビット PCMCIA サポートを実行し、Dock II の PCMCIA スロットにネットワークカードを挿入しても正しく動作しているように見えない場合、あるいは、[デバイスマネージャ] 画面で、そのプロパティが "コード 10" のエラーを起こす Dock II の ISA ネットワーク カードを使っている場合は、IBM ヘルプ センターに問い合わせてください。IBM ヘルプ センターでは、この問題を解決するフロッピー ディスクを提供します。

Melco LGY-AT ネットワーク カード用の NDIS 2 ドライバを使う場合

Melco LGY-AT ネットワーク カード用の NDIS 2 ドライバは、サーバー ベースのセットアップのために作られているので、ほかの用途では正しく機能しないことがあります。サーバー ベースのセットアップ以外での使用には、プロテクト モードの NDIS 3 ドライバの使用をお勧めします。

上記の様に、LANを一度接続設定すればそのOSは常に立ち上げ時最初に他のコンピューターが接続されていないかをネットワーク上をさがしに行く設定になりネットワークが接続されていないと「Xドライブがありません。」のメッセージが表示されるようになっている。これはフロッピーディスクをさがしに行くときも同じメッセージを表示する。

最後に一番注意することは、LANの接続されているコンピュータのハードディスクを他のハードディスクにスレーブとして2台連結した場合は、そのハードディスクは元のコンピュータにマスターとして戻してもフロッピーディスクにデータがあるのに無かったりの前記マイクロソフトのメッセージがあるようにあらゆるトラブルが発生し、アロケーションユニット (FAT) が崩れるのでたとえ何とか使っても必ずトラブルが発生する。だから即フォーマットしか選択肢はない。(修正する時間を考えれば其の答えはこれしかありません。)

つまり、LANを導入すればハードディスクをイジクランイが原則です。

LAN

DEC Pathworks

Windows 95 では、DEC PATHWORKS V5.0、V5.0A、および V5.1 がインストールされた環境からのアップグレードに対応しています。このため、既存のリアルモード版PATHWORKSを構成するファイルは、Windows 95 に移行しても使用できます。しかし、プロテクトモード版のファイルがある DEC PATHWORKS for Windows 95 にアップグレードすることを強くお勧めします。

制限事項

PATHWORKS を構成するファイルの検出とアップグレードを自動で行うには、Windows95 のセットアップを実行する前に PATHWORKS を起動しておく必要があります。PATHWORKS が起動されていない場合、または自動検出されない場合には、STARTNETを起動したときに起動時エラーが発生します。この問題を解決するには、コントロールパネルの [ネットワーク] アイコンをダブルクリックして、“PATHWORKS V5.0 以降”の適切なプロトコルを追加してください。

Windows 95 にアップグレードすると、PWSETUP で PATHWORKS の設定を変更できなくなります。しかし、アップグレードするときにあった設定テンプレートは、すべて Windows 95 で動作する形式に変換されます。

PATHWORKS Native、DLC、X.25、および ISDN データリンクは、アップグレードするときに、可能であれば NDIS ドライバが使える形式に変換されます。その NDIS ドライバの設定が正しくない場合や、NDIS ドライバが動作していない場合は、起動時にエラーメッセージが表示され、そのほかの PATHWORKS のファイルは読み込まれません。この問題を解決するには、コントロールパネルの [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、アダプタ ドライバの設定が正しいかどうかを確かめます。アダプタの設定を変更した場合は、“PATHWORKS V5.0 以降”のプロトコルをいったん削除し、もう一度追加し直す必要があります。

PATHWORKS NetWare クライアント ライセンス (CCS または FPA) は、Windows 95 では現在対応していません。Microsoft の NetWare クライアントで PATHWORKS for OpenVMS (NetWare) サーバーまたは PATHWORKS for OSF/1 (NetWare) サーバーに接続する場合は、PATHWORKS FPS ライセンスが必要です。

PATHWORKS サーバー 5.0b およびそれ以前のバージョンでは、長いファイル名は正しく使用できません。長い名前のファイルやフォルダの作成や削除はできますが、DIR コマンドを実行したり、エクスプローラで PATHWORKS サーバーのウィンドウを開いても、長い名前のファイルやフォルダは表示されません。PATHWORKS サーバー バージョン 5.00 EC01 ではこの問題は解決されています。PATHWORKS サーバー バージョン 5.00 EC01 は、DEC から入手できます。

Artisoft LANTastic

Windows 95 のセットアップ中は、LANTastic サーバーは実行できません。

また、LANTastic は、ほかのネットワークと組み合わせて使うことはできません。

ネットワーク スリントへの印刷

サードパーティーのサーバーを介して共有しているプリンタの設定は、失敗することがあります。これに対処するには、MS-DOS ウィンドウ (コマンドプロンプト) で LPT1 をサードパーティーの共有名にリダイレクトし、プリンタのセットアップで LPT1 を設定してください。

たとえば、ネットワーク プリンタを LPT1 に接続する場合は、次のようにします。

1. MS-DOS プロンプトで、次のように入力します。

```
net use lpt1: ¥¥サーバー名 ¥共有名
```

(このコマンドは、使っているネットワークによって異なります。使っているネットワーク製品のマニュアルで、LPTポートのリダイレクト方法を確かめてください。)

2. コントロールパネルで [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。次に、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

Netware ネットワークで PostScript スリントへ印刷する場合に起きる問題

ネットワークに接続された PostScript プリンタへの印刷がうまくいかない場合 (プリンタのフロントパネルにエラーメッセージが表示される、あるいは何も印刷されない) は、見出しページの設定が正しくないことが原因です。この問題を解決するには、

- 1) Capture プリンタのプロパティ ([プリンタ] フォルダを開いて使っているプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします) の [Banner Pages] チェックボックスをオフにして見出しページの印刷を無効にします。または、
- 2) ネットワーク管理者に、PostScript プリンタの Netware サーバーで見出しページの設定を修正してもらってください。

Windows 95 での MS-DLC の問題とインストール

Windows 95 には MS-DLC が付属しており、すでに MS-DLC または IBM-DLC がインストールされている状態からのアップグレードにも対応しています。セットアップの実行時には、DLC が検出されるとともに、設定ファイルが正しく書き換えられます。DLC サポートの詳細については、『Windows 95 リソースキット』の第10章を参照してください。

LAN

対応している構成は次のとおりです。

- ハード ディスクから起動する場合
 - Microsoft Network クライアント
 - NetWare Network クライアント
 - Novell Workstation Shell 3.x (NETX)
 - Novell Workstation Shell 4.x (VLM)
 - Banyan VINES DOS/Windows クライアント
- フロッピー ディスクから起動する場合
 - Microsoft Network クライアント
 - NetWare Network クライアント
 - Novell Workstation Shell 3.x (NETX)
 - Novell Workstation Shell 4.x (VLM)
 - Banyan VINES DOS/Windows クライアント
- リモート ブート サーバーから起動する場合
 - NetWare Network クライアント
 - Novell Workstation Shell 3.x (NETX)
 - Novell Workstation Shell 4.x (VLM)

Microsoft クライアントを使うには、ネットワーク カードの NDIS2 (16 ビット リアル モード) ドライバと NDIS3 (32 ビット プロテクト モード) ドライバの両方が必要です。PCI、EISA、ISAPNP のいずれかのネットワーク カードを使っている場合は、リアル モード クライアントを使って Windows を実行する必要があります。

Windows 95 のアッスグレード方法

すでに Windows 95 が動作しているネットワーク コンピュータに、このファイナル バージョンの Windows 95 をインストールする場合は、新しいディレクトリにインストールする方法と、アップグレードする方法の 2 通りの方法があります。アップグレードは、次の手順で行います。

1. サーバーに接続している動作中のクライアントをすべて終了します。
2. サーバーでは、以前のビルドがインストールされていたフォルダに Windows 95 をインストールしなければなりません。Windows 95 の共有フォルダの内容をすべて削除してから、NETSETUP.EXE を実行してこのフォルダにインストールします。
3. クライアントをコマンド プロンプトから再起動します。
4. Microsoft の NetWare クライアントを使い、ルート ドライブを割り当てる場合は、セットアップを実行するために NETX か VLM を起動する必要があります。
5. 以前と同じようにコンピュータのフォルダと Windows 95 の共有フォルダにドライブを割り当てます。ドライブ名は、以前のビルドのときと同じ名前にする必要があります。また、マップルートは、同じフォルダ レベルにします。
6. 新しいビルドのセットアップを実行します。

ガード パーティー製ネットワーク

ガード パーティー製のリアル モードのネットワークに対応しているファイルをインストールするには、Windows 95 のセットアップ実行時にリアル モードのネットワークを実行しておく必要があります。セットアップ後にリアル モードのネットワークをインス

トールするには、メーカーから Windows 95 専用の .INF ファイルを入手する必要があります。たとえば、FTP から入手できる 32 ビット NFS クライアントには、Windows 95 用の .INF ファイルが含まれています。Windows 95 は、ほかのネットワークにも対応していますが、Microsoft ネットワーク以外のネットワーク構成ファイルは Windows 95 には含まれていません。したがって、ほかのネットワークをインストールする場合は、インストールするネットワーク用の構成ファイルが必要です。

LANDESK 2.0

LANDESK バージョン 2.0 は、Microsoft の IPX/SPX と互換性のあるプロトコル (Nwlink.vxd) やファイルおよび Microsoft ネットワークの共有プリンタ (Vserver.vxd) を使うときに Windows 95 の応答が停止する原因となる USERTSR.EXE という名前の TSR を使っています。

LANDESK バージョン 2.01 では、この問題は修正済みです。Intel の BBS または Intel の製品サポートからのパッチが有効です。

Intel の BBS または Intel の製品サポートの電話番号については、LANDESK に付属するマニュアルを参照してください。

SunSelect PC-NFS

Windows 95 では、バージョン 5.0 以降の SunSelect PC-NFS に対応しています。NDIS 2 の LAN ドライバまたは ODI の LAN ドライバを使って SunSelect PC-NFS をインストールした場合、SunSelect PC-NFS は 32 ビット プロテクト モード クライアントとともに、16 ビット ネットワーク クライアントとしてインストールされます。SunSelect PC-NFS の LAN ドライバを使う場合、Windows 95 では、PC-NFS は優先的にログオンするネットワークとしてだけ使用できます。この場合、ほかの 32 ビット ネットワーク プロバイダは使用できません。

Banyan VINES

起動時に、VINES のバージョンが最新のものではないというメッセージが表示された場合は、Windows フォルダの VINES.INI を次のように編集してください。

```
[NEWREV]
dontcopy=1
vines.version=5.5x (x) USA ; x は、使っている
VINES のバージョン番号
windows.version=3.95
```

起動時に "Vines NDIS Interface error: 1021. See NDISBAN.DOC for an error description," というメッセージが表示された場合は、VINES の PCCONFIG ユーティリティを実行して Banyan のドライバを NDIS ドライバに変えてください。また、セクション名が PROTOCOL.INI に記述されているドライバ名と合っているかどうかを確かめてください。